

第21回全国消防操法大会 自動車ポンプ操法の部

佐賀県代表 多久市消防団「パワー オブ 13」

- 指揮隊長 竹廣 喜友
- 指揮者 福島 竜也
- 1番員 吉木 昌久
- 2番員 清永 友和
- 3番員 梶原 昇
- 4番員 尾形 理
- 補助員 船山 充彦
- 選手 堤 克洋
- 選手 陣内 幹
- 選手 川内 智洋
- 選手 川口 剛



- 選手 原口 哲幸
- 選手 荻野 浩樹
- 選手 岸川 真紀

たくさんの応援

ありがとうございました

—多久市消防団31年ぶりの全国大会出場—



10月12日、東京ビックサイトで開かれた「全国消防操法大会自動車ポンプ操法の部」に佐賀県代表として多久市消防団が出場しました。消防団の甲子園と呼ばれるこの大会には、全国から精鋭消防団24チームが参加。激しい熱戦が繰り広げられました。

当日、会場では、大勢の応援団もかけつけ、声援を受けた選手達は、これまでの訓練の成果を十分発揮し、素晴らしい操法を披露しました。結果は、残念ながら入賞を果たすことができませんでしたが、長期間厳しい訓練を経験してきた13名の選手と、その選手と気持ちを一つにし、サポートをしてきた団員の今後の多久市消防団での活躍が期待されます。

ご指導いただいた多久消防署員のみなさん

- 警防1課 課長 光岡 潔和 消防司令
- 警防1課 警防係 主査 布上 隆則 消防司令補
- 警防2課 警防係 主任 藤原 増雄 消防士長

市民のみなさまへ

陣内成和多久市消防団団長から  
 全国大会出場に対しては、市民のみなさまの温かいご協力、ご支援に深く感謝いたしております。この間は、選手はもとより指導員、分団長をはじめ各団員が、毎日よくやってくれました。全国大会の成績は、惜しくも入賞できませんでした。貴重な経験ができて、私自身も感謝いたしております。これから多久市消防団は、この貴重な経験をもとに、更なる精進を行い、地域の防災の要として先頭に立ち、がんばっていく所存です。今後とも、消防団活動に対し、ご協力をよろしくお願いいたします。

火のしまつ 君がしなくて 誰がする

(平成20年度全国統一防火標語)

住宅防火のための7つのポイント

—身近で起こる住宅火災から、尊い生命を守るための対策—

3つの習慣

- 寝タバコは絶対にしない
- ストーブは燃えやすいものから離れた位置で使用する
- ガスこんろなどのそばを離れるときは、必ず火を消す

4つの対策

- 逃げ遅れを防ぐために、住宅用火災報知器を設置する
- 寝具・衣類・カーテンからの火災を防ぐために防炎品を使用する
- 火災を小さいうちに消すために消火器等を設置する
- お年寄りや身体の不自由な人を守るために、隣近所の協力体制をつくる

＊火災予防ポスター入賞作品の展示および表彰式

火災予防運動の一環として、多久市消防署では、市内の小・中学生を対象に啓発ポスターを募集しました。

入賞者の表彰と作品展示を行います。ぜひご観覧ください。

<b>表 彰 式</b>	<b>入賞作品の展示</b>
日時 11月8日(土) 10時	期間 11月8日(土) ～11月15日(土)
会場 多久消防署	場所 多久市役所1階ロビー
■問い合わせ 多久消防署予防指導課 ☎75-2191	

火の取り扱いに注意しよう!

秋の全国火災予防運動 11月9日(日)～15日(土)

11月9日から15日までの一週間は、秋の全国火災予防運動を展開します。今年9月まで、多久市内でも6件の火災が発生しており、特に秋から冬の季節は空気が乾燥し、暖房器具を使うことが多い火災の発生しやすい時期です。火の取り扱いにご注意ください。

火災種別	件数
建物火災	2件
林野火災	1件
車両火災	0件
その他火災	3件
合計	6件

平成20年9月30日 現在

多久市の今年の火災発生状況です

